

# 人権とんだ

3月号

令和4年(2022)

No. 516

たぶんかきょうせい  
多文化共生のまちづくりを目指して  
～ Friendship Day in SANDA を開催しました～

《問い合わせ》  
福祉共生部共生社会推進室人権推進課  
TEL : 559-5148 FAX : 562-1294  
E-mail : jinken\_u@city.sanda.lg.jp

## 第24回 Friendship Day in SANDA



イラスト：ゆきみん

※実際の会場では、マスクを着用し、感染症に配慮して開催しました。

三田市には、42か国約1100人（令和4年1月末現在）の外国人市民が暮らしています。また、日本国籍の人で、外国にルーツを持つ人もいます。

国籍や民族などの違いを越えて、すべての市民が互いの文化や価値観を認め合える多文化共生社会の実現に向けて、例年 Friendship Day in SANDA を開催しています。

今年度は、11月23日に外国にルーツのある若者の発表、青年海外協力隊経験者や留学生のスピーチなどを行いましたので、その一部を紹介します。

当日の様子は、市ホームページでご覧いただけます。



## 外国にルーツのある

### 若者の発表

- ・レーニユエン ホンドウツクさん  
(中学3年生、ベトナム)
- ・ポルト ホンマカリナ ユミさん  
(中学3年生、ブラジル)
- ・サユリ パスソルダン 新垣さん  
(中学1年生、ペルー)

## 外国にルーツがあつて よかつたこと

・ホンドウツクさん



イラスト：ゆきみん

ベトナムで生まれ、5年前に日本へ来ました。周りのたくさんの人と仲良くして、いつも一緒にいたり助け合ったりできてよかつたと思います。

・サユリさん



イラスト：ゆきみん

親戚が他の国に住んでいて、私は日本語とスペイン語を話すことができます。日本にいるスペイン語圏の人ともコミュニケーションをとることができるのが、よいことだと思っています。

## 文化の違いについて

・ホンドウツクさん

日本に来てから、ベトナムと日本の両方の文化でお正月を祝うようになりました。同じところもありますが違うところも多くあります。ベトナムでは、バインザイン(ベトナムのお餅)やバインチュン(ベトナムの伝統的なちまき)といった食べ物を食べたり、南部ではホアマイ(黄色の梅の花)、北部ではホアダオ(ピンク色の桃の花)という花を飾ったりします。

・ユミさん



イラスト：ゆきみん

特に驚いたことは、アボカドの食べ方です。日本ではアボカドを

サラダに入れるなど塩味で食べることが多いですが、ブラジルでは甘いものと考えられていて砂糖漬けなどで食べます。また、お正月はサンバを踊ったりして、にぎやかに過ごしてきました。家では、たまに日常でもサンバを踊ることがあります。

## 生活していて困ったこと

・ホンドウツクさん

困ったことはあまりないですが、時々言いたいことをうまく伝えられないことがありました。

・司会

ホンさんが日本語を習得するのにとても苦労したことを知っています。伝えたいことを伝えきれない歯がゆさがあると思います。ベトナム語の通訳の先生や翻訳機を通じてホンさんの思いを受け取っていました。

・ユミさん

姉が髪質でいじめられたことがあります。姉のこともあり、私は小さい頃からストレートパーマをかけていたので、言われることはあり

ませんでした。

・サユリさん

スペイン語で親に電話する時に、周りの子たちが笑いながら真似をして嫌な思いをしたことがあります。体型は人それぞれ違って南半球の人は下半身が大きいことがあります。私は下半身が太っていると言われたことがあり、学校に行きたくなくなって先生や友達に聞いてもらいました。言った人に言い返しても、もっと嫌なことを言われる可能性が高いから無視することが多かつたです。

## 将来の夢

・ホンドウツクさん

今はまだ将来何がしたいか決めていませんが、できれば日本にずっといたいと思っています。

・ユミさん

世界を飛び回る歌手になりたいです。いろんな場所で自分の曲を聴いて共感してもらいたいです。

・サユリさん

将来の夢はイラストレーターです。他の国に行つて文化に触れて、イラストでみんなに伝えたいと思っています。

## 青年海外協力隊での 経験を教育現場で活かす

三田市立母子小学校教職員

山崎 丈さん



イラスト：ゆきみん

## ガーナでの異文化体験の はじまり

大学卒業後、西アフリカのガーナに公立高校の数学教師として派遣されました。ガーナでは授業中に一斉に手が挙がるなど意欲的な子どもたちが多く、勉強に貧困から抜け出すイメージが強かったように思います。数学教師は自分だけだったので、子どもたちの熱意に応え、何とか数学のレベルを上げたいという気持ちで教壇に立ちました。赴任して1か月後のある日、突然声が出なくなりました。20代後半の高校生から「日本人に会った方がよいよ」と言われ、25km離れた所まで日本人の協力隊員に自転車で会いに行き、6時間位話を

しました。母語である日本語で話す機会が全くなく、初の海外生活にストレスが溜まっていたように、気持ちが悪かったです。現地

## 現地の校長先生の言葉から



学校に戻ると、火焰樹という木を見ながら、校長先生に「数学を一生懸命教えてくれて、子どもたちも頼りにしている。ただ君をここにあるきれいな赤い花が見えていないように思う。君自身がガーナの自然の美しさや鳥の声のさえずりを感じながら教えてほしい」と言われました。見知らぬ国に来て、自分としては現地の高校生に一生懸命に関わっているつもりでした。しかし、目の前にある自然の美しさに感動する心のゆとりさえ忘れていたことに気づきました。心を触れ合いながら教育をしていくことがいかに大切かということを感じていただきました。また、外国でマイノリティ（少数者）として生きる中で、マジョ

リティ（多数者）のガーナ人の同僚や生徒たちに支えてもらいました。自分自身のマイノリティの経験を生かして、声を上げにくい立場の子どもの気持ちをくみ取れる教師になろうと強く思いました。

## つなぐ架け橋として

途上国と日本をつなぐ架け橋になろうと、国際交流の活動を続けています。勤務校でのベナンとのオンライン交流やガーナの教え子が来日した際、三田のラジオ番組出演や観光をサポートしました。今後、日本とガーナの教え子がどこかで出会って話す中で、私の名前が挙がり両国をつなぐ架け橋になれば幸せだと思います。

## 留学生のスピーチ

王子嬢さん（大学4年生）



イラスト：ゆきみん

## 私の故郷

中国の雲南省出身です。雲南省は中国の西南側にあつて、ミャ

### 人権に関する総合相談

TEL 559-5062 FAX 559-5063

月曜～金曜 9時～17時（※祝日・年末年始を除く）

専門相談員による性的マイノリティ特設電話相談（予約）

TEL 559-5062 FAX 559-5063

月曜～金曜 9時～17時（※祝日・年末年始を除く）

※専門相談員との相談日は予約後に調整

人権擁護委員会による定例人権相談（予約）

TEL 559-5148 FAX 562-1294

《次回相談日》3月24日（木）13時～16時

### 令和3年度 人権ポスター・標語受賞作品



富士中学校2年  
岡本羽南さん

かんがえよう  
言葉のおもさを  
しっかりと  
狭間小学校6年  
新井結羅さん

令和3年度 じゆしやう  
ラブピース4コマまんが受賞作品  
「みんなちがっていいんだよ。」



けやき台小学校3年  
なかたに はるか  
中谷 陽花さん



ンマーとラオスとベトナムに接しています。面積はほぼ日本と同じです。中国には漢民族を含めて56の民族が住んでいます。雲南省には25の少数民族が暮らしています。私は漢民族ですが、雲南省では少数民族の料理を楽しむことができます。三田のように自然も豊かで、毎日バスで通学する時、周りの緑や田んぼを見ると、まるで実家みたいだと思います。

## 日本での毎日

視野を広げたいと考え、高校を卒業して2016年4月に日本に来ました。日本語学校で日本語を勉強しながら大学入試に合格しました。大学に入ると毎日授業と宿題に追われ、周りの日本人学生とコミュニケーションをとるのも大変で、留学生同士で集まって情報交換をしていました。ゼミに最初参加した時は、私一人が外国人だったので緊張して不安でしたが、スポーツを通じて仲良くなりとても楽しかったです。

## これからの目標

3年生になってコロナが始まって、対面授業がオンライン授業に変わり、家でしか授業を受けられないようになりました。日本語を話す機会も少なくなり、このまま

就職するとこの企業も受入れがないと考え、大学院に進学することにしました。専門知識と日本語を身につけて、卒業後は日本で就職したいと思っています。

## 編集後記



近年、「多様性」という言葉をよく聞きます。民族や習慣の違いを知るだけではなく、お互いに人間としての共通性を認め合い、対等な関係づくりを大切に、共生社会を作っていきたいものです。

Friendship Day in SANDAは、そんな思いからスタートしました。

これまで、外国人市民の皆さんから、三田で生活していて困ったことやしんどい思いをしたこと、また、友達ができていきいきと生活できるようになったことなど、たくさんのお話をお聞きしました。そして今回は、参加した若い人たちから、自分のルーツを誇りに思い、その良さを広めたいという力強いメッセージがありました。この思いを受けて、差別やいじめのない、誰もが自分らしく生きることが出来る明るい地域社会を作っていかなければならないと思います。

## 国際交流プラザ



国際交流プラザは、外国人の皆さんが多言語で相談できる窓口です。情報提供や交流イベントの案内も行っていますので、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

《時間》10時から17時  
(12時30分から13時30分を除く)  
《定休日》火曜日、年末年始

## 外国人よろず相談

日常生活で分からないことや、困っていることなどの相談に、お気軽にご利用ください。必要に応じて専門機関も紹介します。

《日時》毎月 第2水曜、第4土曜  
10時30分から12時30分

三田駅前 キッピーモール6階 まちづくり協働センター内

電話：079-559-5164 F A X：079-559-5173 E-mail：kippy-kokusaip@bz04.plala.or.jp